

授業科目		単位数	学年	期間	実務経験	担当氏名
					職種	
小児看護学実習 (健康な児の看護) (健康障害をもつ児の看護)		2	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師	専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)					授業形態(全授業時間に対する割合)	
○該当する・該当しない					講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%	
評価方法	看護実践・実習に対する意欲・態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価				教科書・参考資料	臨地実習要綱 小児分野関連教科書他
概要	母子相互作用の中で看護が果たすべき役割を考え、子どもの健全な成長発達を助け、子どもの権利を尊重するような看護実践を行う。小児看護の展開は、同時に家族を含んだ看護の展開であることを念頭にいれて家族の支援を考える。健康な小児の成長発達を観察し、健康障害をもった小児の回復への援助、さらに健康障害があっても、できるだけ健全な成長発達ができるような援助を行う。					
目標	1. 健康な小児の成長を促すための援助を理解できる 2. 健康な小児の発達を促すための援助を理解できる 3. 健康な小児の日常生活行動援助を実践できる 4. 健康上の問題をもつ小児とその家族のアセスメントを行い援助の必要性を見出すことができる 5. 健康上の問題をもつ小児の発達段階や健康段階と治療経過に応じた看護を実践できる 6. 小児各期の成長発達段階に応じた日常生活援助、診療・治療・検査・処置に伴う援助の具体的な方法を理解できる 7. 小児看護における看護師の役割と援助のあり方を考察できる 8. 小児看護における倫理について考えを深める					
回数	授業内容・計画					
	(健康な児の看護) 津山保育園 保育園の各クラスに入り、成長・発達を促す援助の実践を行う。 (健康障害をもつ児の看護) 津山中央病院 小児病棟・小児科外来・院内学級 ・入院する患児および家族への看護 入院患児の看護を個別性を踏まえ看護師とともに考え実践 小児の権利擁護について考えを深める : 院内学級の見学や院内保育士との連携 小児カンファレンス参加 医師からの臨床講義 ・治療・検査を受ける小児と家族への看護 ・外来受診をする患児および家族への看護 ・特殊な治療環境での患児および家族への看護 NICUについて臨床講義 ・小児看護における看護師の役割と援助のあり方を考察できる ・小児看護における倫理について考えを深める					
留意事項						
・目の前の子どもたちに今起きていることに、タイムリーに対応するために既習の知識を復習して臨むこと。また、看護師に報告・相談を密に行うことでタイムリーな実践を意識すること。 ・体調管理を行い感染源にならないようにすること。また、感染予防を厳重に行い感染症にかからないような感染対策を実践すること。 ・子どもの安全と成長・発達への影響、権利擁護を常に意識すること。 ・詳細は実習要綱に記載あり						